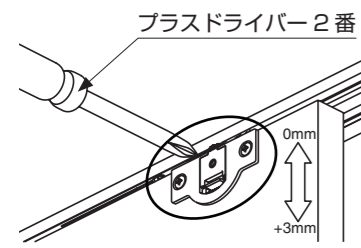
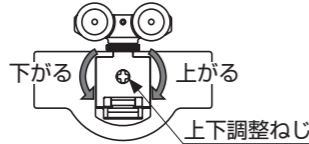


## 10. 扉の上下調整

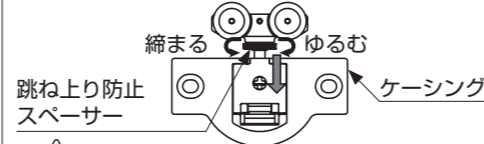


(1)上ローラーの上下調整ねじを調整方向に回してください。



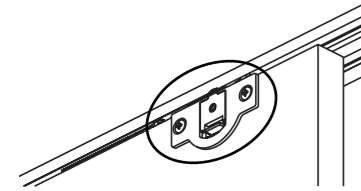
上ローラーは出荷時は上下調整範囲の一番上の位置です。

(2)調整後、跳ね上り防止スペーサーを指で回してケーシングの上面まで下げて締めてください。



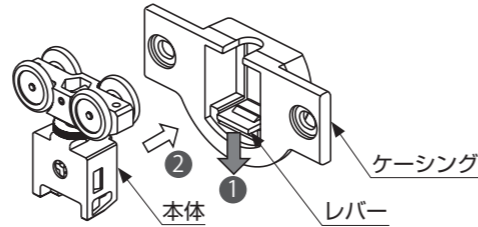
再び上下調整する際は、一旦、跳ね上り防止スペーサーをローラーの下面まで上げてから行ってください。

## ●扉を取り外す場合



上ローラーのレバーを押し下げながら、**①**扉を手前方向に引いてください。**②**

扉の転倒にご注意ください。

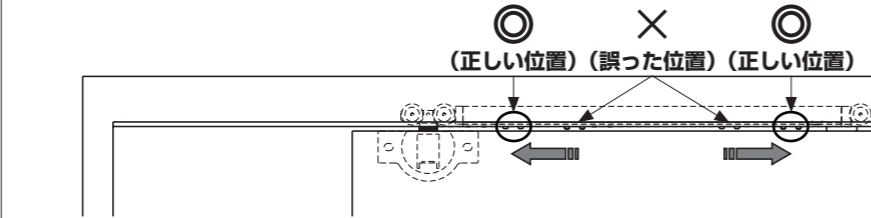
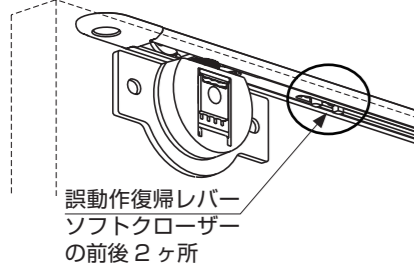


## ●扉が閉じ際・開き際にゆっくり引き込まれない場合

ソフトクローザーのトリガーキャッチャーが外れていることがあります。  
(「3. ソフトクローザーを取り付ける前の確認」参照)

(1)扉を**中間位置**に移動させ、誤動作復帰レバーの位置を確認してください。

(2)NG位置の場合、扉を保持しながらマイナスドライバーなどで、誤動作復帰レバーを矢印の方向に移動し、正しい位置にセットしてください。



## ■困ったときの対応

症状	チェックポイント	対処方法
ソフトクローズしない	扉が閉じ際・開き際の手前で止まっていますか？	ソフトクローザーの誤動作復帰レバーの位置を確認し、位置が正しくない場合はレバー位置を復帰してください。詳細は上記の「●扉が閉じ際・開き際にゆっくり引き込まれない場合」を参照してください。
	トリガーが取り付けられていますか？	トリガーを指定の位置に取り付けてください。
	扉を勢いよく閉じていませんか？	扉を勢いよく閉じた場合、ソフトクローズ機能が十分に発揮されず故障の原因になりますので、おやめください。
ソフトクローズの途中で止まってしまう	扉下面が底板にこすっていませんか？	上レールを取り付けているねじにゆるみがないか確認します。ねじがゆるんで上レールが下がっていたら、ねじを増し締めしてください。扉の上下調整を行い、適切な隙間に設定してください。
	上レール内に取り付けしたトリガーが変形していませんか？	トリガーの取付ねじを強く締めつけすぎると、トリガーが変形してしまい、ソフトクローザーとこすってしまう場合があります。変形してしまったトリガーは新品と交換し、改めて取り付け直してください。
扉の開閉時に異音が発生する。	扉が隣接する箇所（キャビネット、引き違い扉など）とこすっていませんか？	扉がこすらないように修正します。下ガイドの調整ガイドの位置を再度調整してください。
	上レール内にごみやアルミの切り粉がついていませんか？	上レール内を掃除し、異物を取り除いてください。
扉の開閉が重い。	上レールやトリガーの取付ねじがゆるんでいませんか？	ソフトクローザーがねじ頭にこすっていますので、ねじを締め直してください。
	扉が隣接する箇所（キャビネット、引き違い扉など）とこすっていませんか？	扉がこすらないように修正します。下ガイドの調整ガイドの位置を再度調整してください。
勝手に扉が開閉してしまう。	上レールが反りや変形していませんか？	キャビネット天板の上レール取付溝加工が適切でないと、上レール内が狭まり、上ローラーとこする場合があります。天板の加工溝を修正してください。
	上レールが水平に取り付けてありますか？	水平器を利用してキャビネットを水平に設置し、その後上レールが水平になるように取り付け直してください。

## ■定期点検

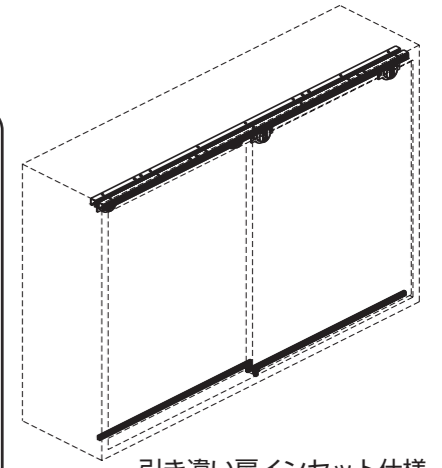
- ・レール内の掃除を行い、ごみ・異物などを取り除いてください。
- ・扉の上下の隙間を確認し、必要に応じて調整を行ってください。

# 上吊式家具用引戸 SKDC 型 ソフトクローザー インセット扉仕様

# 取付説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
作業前に本書をよくお読みの上、正しく取り付けください。

- 警告** 製品の取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことがあります。
- 本品の取り付けは、本書に従って知識・経験のある方が正しく行ってください。取付方法を誤ると、本来の性能が発揮できないほか、破損などによる思わぬけがのおそれがあります。
  - 本来の目的とは異なる使用方法や分解、改造及び本書に示す仕様以外の扉への使用はおやめください。仕様外の扉に使用したことによる事故、けがなどにつきましては、その責任の一切を負いかねますのでご了承ください。
  - 扉の質量、開閉の衝撃に耐える強度の筐体を製作してください。強度の無い筐体は扉の動きを著しく低下させるほか、扉の脱落を引き起こすこともあり大変危険です。



引き違い扉インセット仕様

## ■本製品について

本製品は家具向けの上吊り引戸用部品です。上吊り式のレールとローラーにより、扉は軽い力でなめらかに動きます。扉の閉じ際、開き際においては、ソフトクローザー部品により、扉の勢いをダンパーで吸収しゆっくりと引き込みます。

## ■仕様

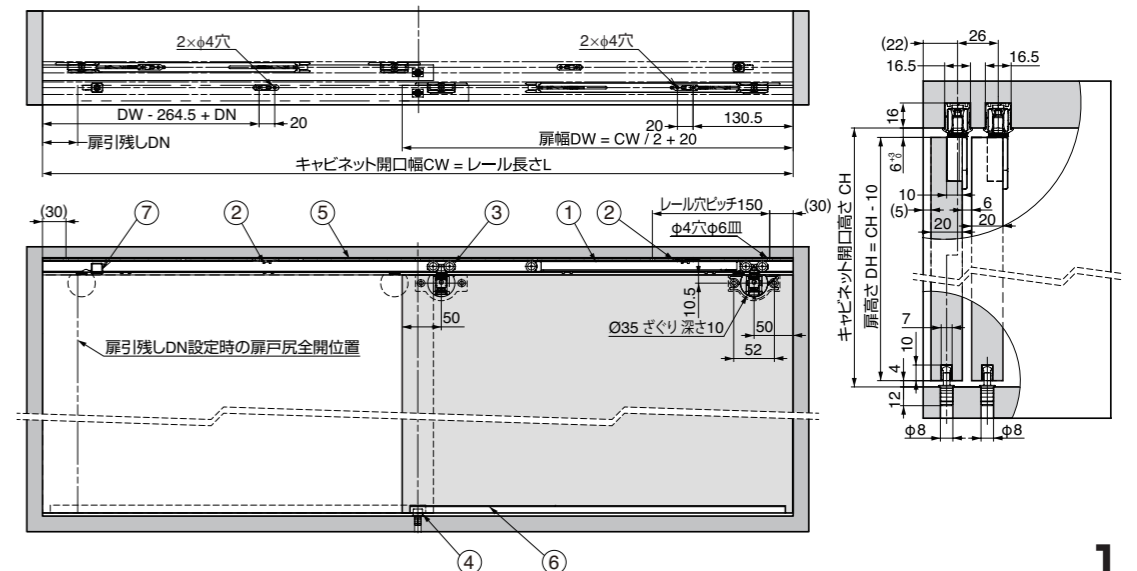
引き違い扉 インセット仕様	品番	扉質量 (1枚当たり)	扉厚	扉幅 (木扉の場合※)	扉高さ
	SKDC-URWC6	3 ~ 6kg	15mm 以上	420 ~ 900mm	1200mm 以下
SKDC-URWC9	9kg				

・使用場所の室温、操作方法、取付状態および内蔵ダンパーのばらつきなどにより、ソフトクローズ機構による扉の閉じる速さは変わります。  
※アルミフレーム扉の場合は、アルミフレーム枠の部品構造により、取付可能な扉幅が異なります。

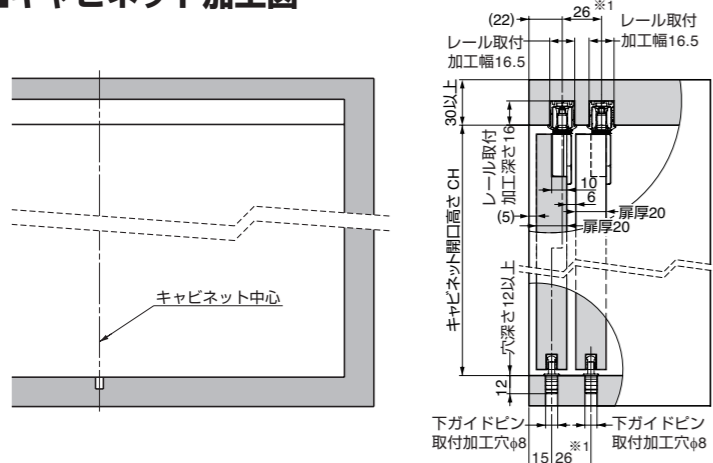
## ■構成部品 ( ) は扉の引き残り設定時に使用します。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
	ソフトクローザー	トリガー	上ローラー	下ガイドピン	クローザー用上レール	ガイドレール	ストッパー
付属ねじ (磁石1ヶ付)		①に2ヶ同梱					
付属ねじ (磁石1ヶ付)	・十字穴付低頭 (D8.3) タッピンねじ 4 × 16 2本 ・十字穴付低頭 (D5.5) タッピンねじ 3 × 12 4本		・十字穴付低頭 (D8.3) タッピンねじ 4 × 16 2本		・十字穴付皿タッピンねじ 3 × 12 取付穴数分		
数量	2セット		2ヶ	2ヶ	2本	2本	(2ヶ) 扉引き残り設定時に使用

## ■納まり寸法例

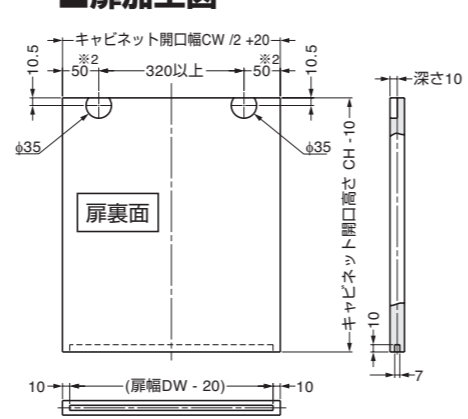


## ■キャビネット加工図



※ 1 図は扉厚 20mm の場合の寸法です。扉厚に応じ、適宜設定してください。

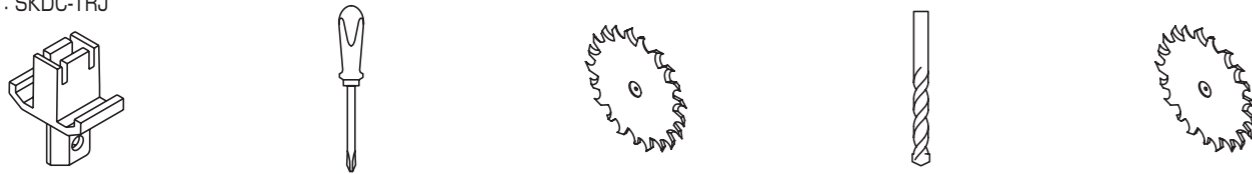
## ■扉加工図



※ 2 寸法を変更した場合、トリガーの位置も変更する必要があります。変更寸法に応じ、適宜設定してください。

## ■使用する工具と準備していただくもの

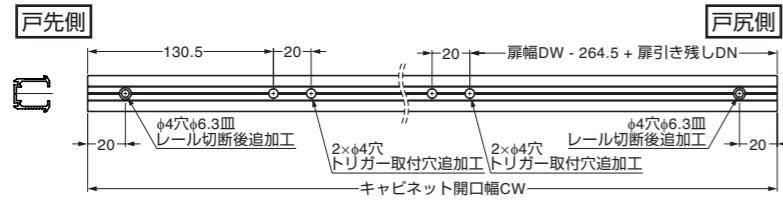
- トリガー取付治具 (別売)  
注文コード: 250-026-666  
品番: SKDC-TRJ
- プラスドライバー 2番
- アルミレールの切断工具
- アルミレールの穴あけ加工工具
- 樹脂製ガイドレールの切断加工工具



## ■組立手順

### 1. 上レール、ガイドレールの切断、穴加工

#### 上レール



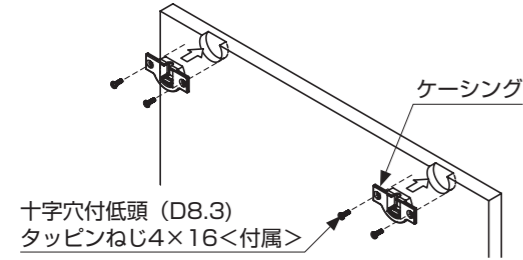
#### ガイドレール



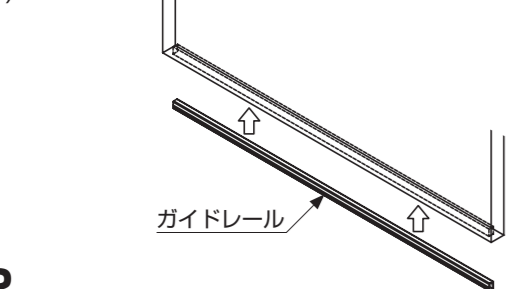
レールは切断部が変形しないように、補強材などを入れて切断してください。  
上レール内は、木材のかすやレールの切り粉などの異物をきれいに取り除いてください。扉操作時にゴロゴロ音が発生の原因になります。

### 2. 扉への部品の取り付け

(1)

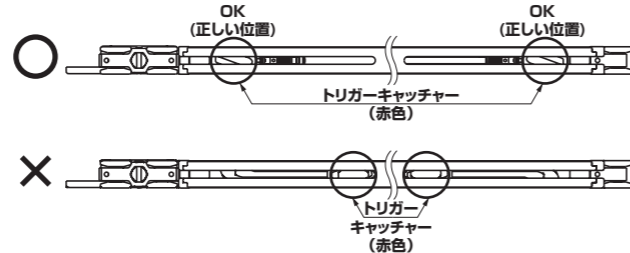


(2)

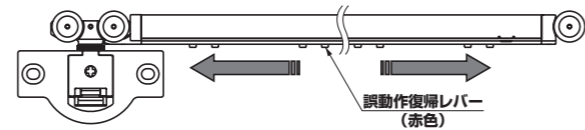


### 3. ソフトクローザーを取り付ける前の確認

(1) ソフトクローザーの上面両端の、トリガーキャッチャーが、下図のように正しい位置にあることを確認してください。

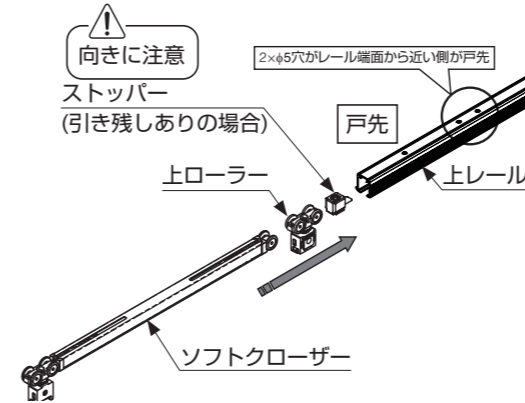


(2) トリガーキャッチャーが正しい位置に無い場合、ソフトクローザー底面の誤動作復帰レバーを図の矢印の方向に操作して正しい位置にセットしてください。

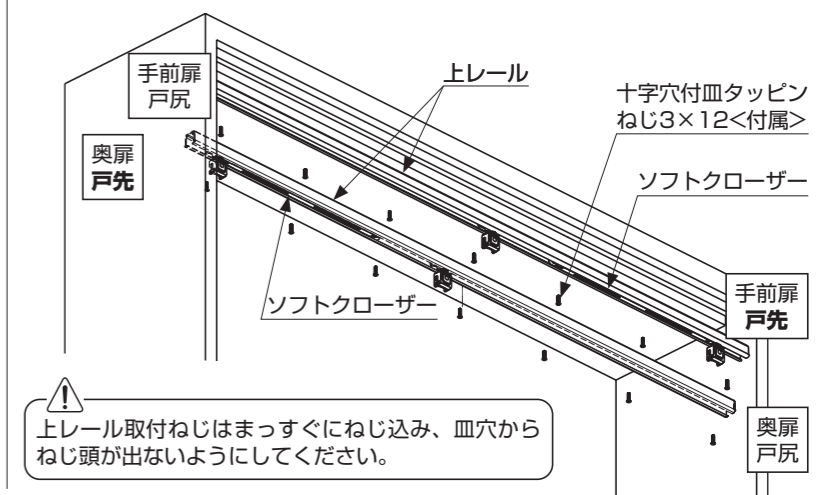


## 4. 上レールへの部品の組み込みと上レールの取り付け

(1) 上レールの戸先側にソフトクローザーがくる向きで、クローザーと上ローラーを上レールに組み込んでください。

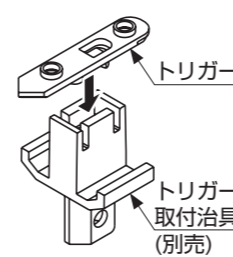


(2) 上レールの戸先の向きに注意し、上レールをキャビネットに取り付けてください。



## 5. 上レールへのトリガーの取り付け

(1)

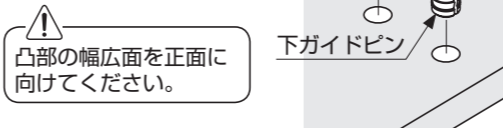


(2) 上レールのトリガー取付穴に(1)で組んだものを、向きに注意し、取り付けてください。



## 6. 下ガイドピンの取り付け

下ガイドピンをキャビネット底面の穴に挿入してください。



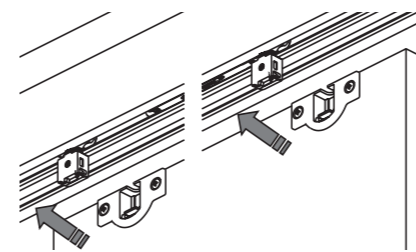
## 7-1 扉の吊り込み

(1) キャビネット奥側の扉から吊り込みます。下ガイドピンの凸部に扉下の溝をはめてください。



## 7-2 扉の吊り込み

(2) 扉裏面に取り付けたケーシングの凹部に上ローラー本体を押し込み、組みつけてください。



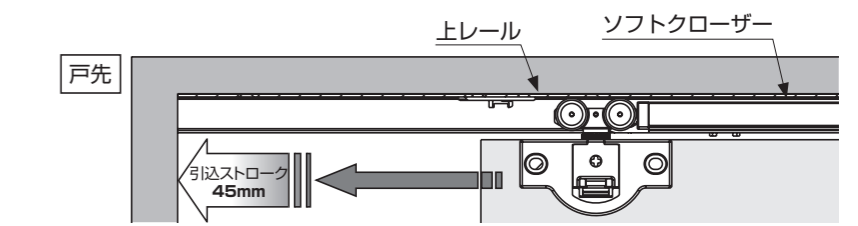
「パチン」という音がするまで押し込んでください。

(3) 同様の手順でキャビネット手前側の扉も吊り込んでください。

## 8. ソフトクローザーの動作確認

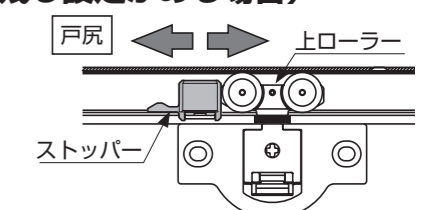
(1) 扉を戸先側にゆっくり動かし、扉の閉じ際の手前からソフトクローザーが作動し、最後まで扉が閉まりきるか確認してください。

(2) 同様に、扉の戸尻側のソフトクローザーも動作確認をしてください。  
※扉の引き残しが設定されている場合は、引き残り位置で止まります。



## 9. ストッパーの位置調整 (扉引き残り設定がある場合)

(1) 扉が引き残り位置で止まるように、クローザー用上レール内戸尻側のストッパー位置を調整します。



(2) 扉を止める位置でストッパーに上ローラーが当たっていることを確認し、ストッパーのねじを締め込んでください。

設定した扉の全閉位置、扉の全開位置に扉が納まらない場合は、扉を無理に押し込まないでください。ソフトクローザーが破損するおそれがあります。納まり寸法例 (P.1) を元にトリガーの取付位置を再度確認し、正しい位置に取り付けてください。その後、設定した戸尻全開位置に合わせ、ストッパー位置を調整します。